

コヤナギBPニュース

No. 106

2015



発行 小柳商事株式会社
TEL 03-3739-1111
平成 27 年 1 月 吉日

【あけましてあめでございます。本年も宜しくお願い申し上げます。】

昨年、格別の御厚情を賜り厚く御礼を申し上げます。本年も社員一同、皆様にご満足頂けるサービスを心がける所存でございますので、何とぞ昨年同様のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。皆様のご健勝と貴社の益々のご発展を心よりお祈り致します。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



「ものすごい英断」と驚きの声、トヨタ燃料電池車の特許、特別無償開放

トヨタ自動車保有する燃料電池車（FCV）関連の特許すべての無償提供を6日発表したことについて、日系自動車メーカー各社からは「ものすごい英断」（日産自動車の志賀俊之副会長）などと驚きの声が多く上がった。

FCVは燃料となる水素のインフラが必要になるため、台数の拡大が急がれている。トヨタは1社の努力だけでは限界があり、他社を巻き込むことで市場創造を加速したい考えだが、次世代エコカー戦略に対する自動車メーカー各社の思惑はさまざま。トヨタの狙い通り、実際に競合他社がトヨタの技術を採用するかどうか注目される。

日本自動車工業会（自工会）の池史彦会長（ホンダ会長）は同日、自工会主催の賀詞交歓会で記者団に対し、「将来を考えると、燃料電池車はポテンシャルが大きい」とし、特許の無償開放は参加企業を増やし、燃料電池車分野で日本メーカーによる国際標準化がより進むとして「歓迎すべき動き」と評した。

日本メーカーはこれまで自前主義が多く、個社で技術を囲い込んだ結果、「ガラパゴス化して世界標準になりにくかった」と日産の志賀副会長は指摘。特許の無償開放によって「量が増えてコストが下がり、燃料電池が普及する。そうすればインフラがついてくる」と述べ、トヨタの判断は「非常に賢い」として拍手を送った。自動車メーカーは通常、技術流出などを警戒し、特許は有償かつ提携先に限ることが多いのが一般的。トヨタにとっても、不特定の企業などに対して無償で特許を提供するのは今回が初めてで、異例の決断だ。

しかし、トヨタの特許技術を実際に使うかどうかを問われると、各社幹部らは「まだ中身がわからないが、現実はなかなか（難しい）」などと口が重い。電気自動車（EV）を推進している日産の志賀副会長も、自社としては「必要であれば」と述べるにとどめ、むしろ採用するのは海外メーカーや、「自動車メーカーよりもサプライヤーが使うのではないか」との見方も示す。



トヨタの技術を採用することはトヨタに事実上、次世代エコカーの本命とされるFCVの主導権を握られることにもつながりかねず、各社の慎重な姿勢が垣間見える。

また、FCVの開発には莫大な資金が必要なため、経営資源の少ないメーカーは「まだ取り組める段階ではない」という。ホンダ、日産は開発を進めて一般向け販売を予定しているが、富士重やマツダなどはFCV参入未定だ。FCVを着実に皆で心一つに進めていくことこそ、水素社会の実現、持続的成長につながる。トヨタの豊田章男社長はFCVの普及加速に期待を込めるが、狙い通りに進むかどうか。



【MIRAI とは】

MIRAI は、自社開発の新型トヨタFCスタックや高圧水素タンクなどで構成する燃料電池技術とハイブリッド技術を融合した「トヨタフューエルセルシステム（TFCS）」を採用。内燃機関に比べてエネルギー効率がよく、加えて、走行時にCO₂や環境負荷物質を排出しない優れた環境性能を実現するとともに、3分程度*3の水素の充填で十分な走行距離を得られるなど、ガソリンエンジン車と同等の利便性を備えている。

また、一目でMIRAIとわかるデザイン、全車速域モーター走行による優れた加速性能と圧倒的な静粛性や低重心化などにより操縦安定性を高めた走りの楽しさ、停電や災害などの非常時に使える大容量外部電源供給システム、より安心・安全・快適にお乗りいただくための専用通信サービスの設定など次世代車にふさわしい価値を提供している

【今話題の電解水素水】 OSG ヒューマンウォーター HU-121

指定管理医療機器製造販売認証番号：第 222AFBZX0007000 号

原水から 13 物質を除去し、安心な水です。浄水器メーカーとして長年の実績を持つ OSG だからこそ実現した先進の浄水機能です。

家庭用品品質表示法対象の 13 物質を除去し、日々の暮らしに大切な「安心」を支えます。

独自の新技术「DEM システム」を搭載しています。

家庭用から業務用・産業用まで製造している OSG の電解水素水生成技術を搭載しており、日本の水質は地域や住居形態によって異なりますが、選べる電解モードで日本全国どこの水でもきめ細やかに対応します。

排水量を約 20% カットし DEM システムの採用により、電解水素水生成能力が、当社比で〔3：1 (電解水素水：酸性水)] から〔4：1] に向上しました。

酸性水の排水量を削減し、電解水素水を 3.2L/分生成。むだを減らし、ゆとりの吐水量を実現しています。浄水時の捨て水を約 90% カットする。使用する度に電解時間を積算し、10 分以上に達してから自動で洗浄を行う ECO システムを採用。

従来機種より、洗浄時に発生する排水量を 90% 削減します。

この機会に是非ご検討の程宜しくお願い致します。

【電解水素水とは？】

水を電気分解することによって、電極部に水素が発生します。
水素は還元作用を持つと言われていました。
また、この水素が発生することによって、マイナス極側(陰極側)は水酸化物イオンや陽イオン(カルシウムイオンなど)が多くなり、電解水素水(アルカリイオン水)になります。



新潟営業所営業マンの一押し！

【今年もあのセールがやってクルー！】

年末年始は 1 年で最もお得なお買い得のチャンスです！

歳末年末セール、新年特売セール、新春セールなどなど呼び方は色々ありますが、この時期はとにかくお買い得ということです。

欲しい商品があるけどまだ買ってないという人は要注目！！

この前探したときよりもずっと安く手に入れられるチャンスです。

この時期の特売セールは期間や数量が限定されていることが多いので

うっかりしているとセール期間を過ぎてしまった！

...なんてことにならないようにしましょう。

この前よりも高くなっているというのが解っていないながら

買うのは悔しく感じてしまいますからね。

新潟営業所 伊藤 一茂

どうせ買うならお得な時に手に入れましょう。買いたい時が買い変えどきー！！

※詳しくは各担当者までお問い合わせ下さい。

このキャンペーンは 1 月 21 日から 4 月 12 日までです。



いつものチラシが目印です！！